

「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」への参加について

平成20年12月5日
北陸電力株式会社

本日(12月5日)、当社は経済産業省に「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」(以下、「試行実施」という。)への参加を申請しましたので、お知らせいたします。

<当社の申請概要>

- ・[目標年度] 2008～2012年度の5ヵ年
- ・[削減目標] 各年度のCO₂排出原単位 0.32kg-CO₂/kWh (1990年度比20%低減)

この試行実施は、「CO₂を削減するには、CO₂に取引価格を付け、市場メカニズムを活用し、技術開発や削減努力を誘導する方法が必要」との観点から、政府が「低炭素社会づくり行動計画」(平成20年7月29日閣議決定)で本年10月に開始するとしていたものであり、「地球温暖化対策推進本部」の決定を受け、現在、参加企業の募集が行われているところです。

当社といたしましては、今回の試行実施を「排出量取引の課題の抽出・明確化を目的とした実験」と認識しており、参加を通じて寄与してまいりたいと考えております。

なお、当社はこれまでも「2008年度から2012年度の5ヵ年平均でCO₂排出原単位を1990年度比20%低減する(0.32kg-CO₂/kWh程度)」との自主目標を掲げ、

- CO₂を排出しない原子力発電の安全最優先での利用率向上など、供給面での対策
- 省エネコンサルやヒートポンプ等の高効率機器の普及拡大を通じた需要面での対策
- 「京都メカニズム」の活用といった国際的な取組み

等を通じて、CO₂排出削減に努めております。

以 上

別紙 「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」の概要

「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」の概要

＜試行排出量取引スキーム＞

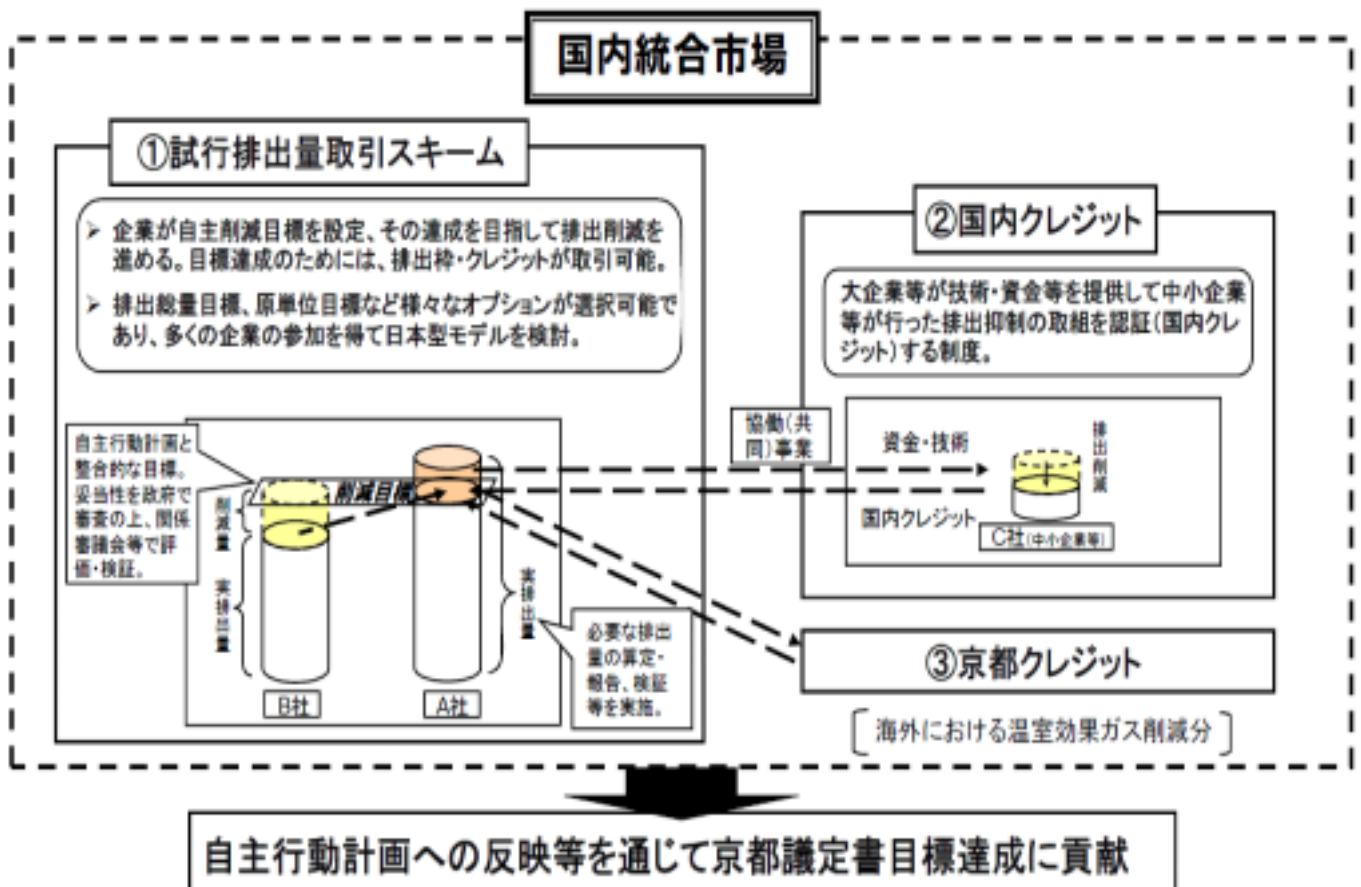
企業等が自主的に削減目標を設定し、その達成を目指して排出削減を進める。
 企業等は排出枠・クレジットを調達し、目標達成に充当することができる。
 その対象となる排出枠・クレジットは、以下のものとする。

- ・ 他の企業等の削減目標の超過達成分の排出枠
- ・ 国内クレジット
- ・ 京都クレジット

排出枠の余剰、不足が生じた場合には、バンキング¹やボローイング²が可能。
 (従来同様2008～2012年度の5年間平均での自主目標達成を目指すこととなる。)

¹ バンキング： 当該年度の目標の超過達成分を次年度に繰り越すこと

² ボローイング： 当該年度の目標の未達成分を次年度から借り入れること



(環境省ホームページより)